報道関係各位

2010 年 6 月 8 日

大日本スクリーン製造株式会社、ダッソー・システムズの V6 PLM ソリューションを導入

PLM2.0 に向け 3D オンライン・コラボレーション環境を構築

2010 年 6 月 8 日東京発　ー3D と PLM（プロダクト・ライフサイクル・マネジメント）ソリューションにおけるワールド・リーダーであるダッソー・システムズ（本社：仏ベリジー、Euronext Paris:#13065, DSY.PA）は、大日本スクリーン製造株式会社様（以下、大日本スクリーン）がダッソー・システムズの次世代 PLM ソリューション V6 を導入したことを発表しました。

世界でも高いマーケットシェアを誇る半導体製造装置および高度な印刷機のメーカーである同社では、厳しい市場環境の中、よりお客様への対応力を高めることを念頭に、開発期間の短縮および生産リードタイム短縮、さらに効果的な在庫管理やキャッシュフローの改善など、さまざまな経営課題に取り組むための PLM インフラストラクチャーとして、CATIA V6 および ENOVIA V6 の導入を決定しました。開発から生産まで業務改革を徹底し、収益力の向上及び、リードタイム短縮を支援する環境を構築し全体最適化を図っていきます。
ENOVIA V6 では、データを一元的に管理することで設計・製造・調達・納品までを通じてリアルタイムな情報管理が可能です。また、CATIA V6 と完全に統合・連携し、同社に必要な数万点以上の大規模アセンブリーもスムーズに管理できます。

大日本スクリーン製造株式会社　執行役員　技術開発センター長　有田 正司氏は、次のように述べています。「このたびの導入にあたり、複数の製品をさまざまな角度から検証した結果、ダッソー・システムズの V6 を採用しました。V6 では、効率的なデータ管理が可能になるだけでなく、各部門が協調して業務に取り組めるようになります。また、CATIA V6 は、弊社の精密機械の複雑な配管・配線の設計・検証についてもすぐれた機能を提供しています。」

ダッソー・システムズ株式会社代表取締役社長の末次朝彦は次のように述べています。「世界有数なハイテク企業である大日本スクリーン様に弊社の次世代ソリューション V6 を活用いただき大変光栄です。V6 では、これまでの PLM の概念を超えてコラボレーション環境が大きく進化し、3D

の活用範囲も大きく広がっています。今後もさまざまなお客様のニーズにお応えできるよう尽力してまいります。」

#

■大日本スクリーン製造について

1943年設立。半導体製造装置、フラットパネルディスプレーの世界的大手メーカー。創業事業である画像情報処理（画像処理、転写、露光など）をコア技術として事業領域を拡大し、現在では、半導体、フラットパネルディスプレー、プリント配線板の各製造装置事業、およびサーマルCTP装置やオンデマンド印刷機器などの印刷・製版機器事業を幅広く展開している。

URL：www.screen.co.jp

■ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは、3D と PLM ソリューションにおけるワールド・リーダーとして、80 カ国以上、115,000 以上のお客様にそのバリューを提供しています。1981 年から 3D ソフトウエア市場におけるパイオニアであるダッソー・システムズは、業界プロセスを支援する PLM アプリケーション・ソフトウエアおよびサービスを開発・販売し、コンセプト設計からメンテナンス、リサイクルに至る全製品ライフサイクルにおける 3D ビジョンを提供します。提供内容は、バーチャル製品設計のための CATIA、3D メカニカル設計のための SolidWorks、バーチャル・プロダクションのための DELMIA、バーチャル･テスティングのための SIMULIA、グローバルなコラボレーティブ・ライフサイクル・マネジメントの ENOVIA、オンライン 3D ライフライク・エクスペリエンスの 3DVIA が含まれます。その他詳細については次のサイトをご覧ください：URL:http://www.3ds.com（英語）、http://www.3ds.com/jp (日本語)

CATIA、DELMIA、ENOVIA、SIMULIA、SolidWorks、および 3DVIA は、ダッソー・システムズ（Dassault Systèmes）もしくはダッソー・システムズの子会社の米国およびその他の国における登録商標です。

当日本語版リリースに関するお問い合わせ先：
ダッソー・システムズ株式会社
マーケティング コミュニケーション
五十嵐 幹子
Tel: 03-5442-4138　e-mail: mikiko.igarashi@3ds.com